

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第 2770 地区 第 8 グループ 越谷北ロータリークラブ

2025-26 年度国際ロータリーテーマ 「よいことのために手を取りあおう」 RI 会長 フランチェスコ・アレッソ

2025-26 年度越谷北 RC 会長提言 「原点回帰 未来へ繋ぐ・奉仕を楽しむ」 越谷北 RC 会長 関 雄二郎

- 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
- 例会場 越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
TEL 048 (975) 9898
FAX 048 (977) 3741
- 創立 1976 年 5 月 11 日

- 会長 関 雄二郎
- 副会長 須賀 篤史
- 幹事 新沼 徹
- 会報委員長 黒田 幸英

第 2394 回 例会記録 No. 12

令和 7 年 10 月 15 日

司会: 藤田 学 編集: 近藤 慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. ロータリーの目的
4. お客様紹介
米山記念奨学生 謝藝 様
5. 会長挨拶
6. 幹事報告
7. 3 分間ロータリー情報
8. 委員会報告
9. スマイル報告
10. 米山月間卓話
11. 出席報告

【次回例会案内】

令和 7 年 11 月 5 日

結婚記念・誕生日祝い

四つのテスト

クラブビジョン・戦略計画唱和

ロータリー財団月間卓話

会長挨拶



関 雄二郎 会長

皆様、こんにちは。

10 月はロータリーにおける「地域社会の経済発展月間」です。このテーマは、単にビジネスや産業の振興を意味するだけでなく、「地域の人々が誇りを持ち、持続的に暮らしていく社会をつくる」というロータリーの根幹に関わるものであります。

経済発展というと、大きな工場や再開発事業を思い浮かべるかもしれません。しかし、ロータリーの目指す地域経済の発展とは、人の生活に寄り添う持続的な仕組みを支えることです。

例えば、地元商店街の活性化や、若者や女性の起業支援、教育、貧困からの脱却支援、障がい者の就労機会づくり。こうした一つひとつの取り組みが、地域に笑顔を生み出します。

私たちの生活と深く関わる「東武鉄道」の歴史から見つめ直してみたいと思います。明治期から昭和にかけて、地域の発展とは「鉄道が通ること」そのものでした。とくに東武鉄道は、東京と地方都市を結ぶ生命線として、沿線



の発展を大きく変えました。

越谷・草加・春日部といった街は、かつては宿場町や農村でしたが、線路が引かれ、駅ができ、人と物が動き始めたことで、商店が生まれ、住宅が増え、学校ができました。まさに、駅ができるところに“経済”と“文化”が生まれたのです。

当時の街づくりでは、駅の「東口」と「西口」で発展に大きな差が出ました。バスタークニナルや銀行、役所がある側が栄え、もう一方は住宅地として開発されていく、そうした構造が、越谷をはじめ多くの東武沿線に見られました。しかし時代が進むにつれ、東西を結ぶ再開発が進み、北千住、柏、大宮、川越、そして越谷レイクタウンのように、東西のバランスが取れた都市型の発展を遂げる駅も増えていきました。現代では、発展の「スケール」がまったく変わりました。かつては鉄道や道路といった物理的な線路が街を動かしましたが、今は“情報のネットワーク”が経済を動かしています。

スマートフォンひとつで世界とつながり、買い物も仕事も教育もオンラインで完結する時代。駅前に集まる人よりも、SNS やデジタル空間に集まる人の方が多いそんな「見えない交通網」が、今の地域経済を支えているのです。もう一つの大きな変化は、多文化社会の進展です。越谷市でも外国にルーツを持つ方々が増え、地域の学校や商店街に多様な言語と文化が共存しています。

これは単なる「社会現象」ではなく、新しい経済の芽でもあります。多様な文化や価値観が交わることで、新しい需要、新しい交流、新しい創造が生まれます。まさに、多文化共生は「人の多様性が経済の多様性を生む」時代のキーワードです。情報時代の新しい課題「見えない支配」しかしその一方で、現代の発展には「見えない危うさ」もあります。地上波では報じられない内容が、YouTube やネットフリックスなどを通じて拡散し、時に教育や正義を装って、人々の「価値観」を静かに変えていきます。知らぬ間に偏った情報に触れ、気づかぬうちに思考を誘導されるこれこそ、情報社会の新しい洗脳の形です。ロータリアンとして、私たちはこうした時代にこそ、「自分の目で確かめ、自分の頭で考える力」つまり情報リテラシーと倫理観を持ち周りの人を巻き込んでいく必要があり

ます。

私たちのクラブが活動する越谷市も、かつては宿場町として栄え、今では商業・住宅都市として発展してきました。しかしその一方で、空き店舗の増加や若年層の地元離れといった課題もあります。

ロータリークラブとしてできることは、「地元を知り、地元を元気にする活動」を継続することです。

例えば、地域イベントへの協賛や、青少年の育成事業を通じた地元愛の醸成。さらには、地域事業者とのネットワークづくりもまた、経済発展への貢献といえます。ロータリーの創始者ポール・ハリスも、最初の仲間たちと「互いの事業を支え合い、社会に役立てる」という思いから活動を始めました。つまり、ロータリーの原点には経済活動があり、その根底に倫理と奉仕の精神があります。ビジネスは人を幸せにする手段であり、奉仕はその心を磨く場。この二つが調和してこそ、健全な地域社会が育まれます。地域経済の発展は、一代では終わりません。私たちは「未来へ繋ぐ架け橋」として、次世代に地域の魅力と誇りを引き継ぐ責任があります。そのために、ロータリアン一人ひとりの行動が問われています。今月のテーマを通じて、もう一度「自分の奉仕が地域の経済にどう貢献しているか」を考えてみたいと思います。

ロータリーの理念「超我の奉仕」は、まさに他者の幸福を通じて自らも豊かになるという考え方です。

地域社会の発展のために、私たち一人一人が出来ることを少しずつ積み重ねていきましょう。

幹事報告



新沼 徹 幹事





(クラブより)

- ・越谷市建設部下水道事業課より「地質・測量調査のお知らせ」が届いています。

調査期間:令和7年9月24日から令和8年3月13日まで。

調査内容:(地質)調査用の機械を設置し、地質試料を採取。

(測量)現地の地形、地盤の高さなどのデータを得る事を目的としています。

(以下、ChatGPT「ロータリークラブに入るメリットについて」)

► ロータリークラブに入るメリット

「地域社会への貢献」

・ロータリークラブの活動の中心は「奉仕」。地域の清掃活動、教育支援、災害支援などを通じて、社会に直接貢献できます。

・五大奉仕活動(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)を通じて、多角的な支援が可能です。

「人脈の拡大」

・異業種の経営者や専門職と定期的に交流できるため、ビジネスや人生において有益な人脈を築けます。

「自己成長と学びの場」

・例会では識者による講話(卓話)があり、幅広い知識や視点を得ることができます。
・自分の職業を通じて社会に貢献する「職業奉仕」の考え方、仕事への意識を高めるきっかけになります。

「国際的な視野の獲得」

・海外のクラブとの交流や国際大会への参加を通じて、グローバルな視点を養うことができます。

委員会報告

親睦活動委員会 小野寺 瑛子 委員長

クリスマス例会について皆様の方にアンケートのお願いを流させて頂いております。グループLINEの方に掲載しております通り、人数の把握とバス利用者の人数を事前に確認しておきたいので、今週金曜日が投票の期限になっております。

ご案内の方法でご連絡が難しい方は、期限終了後に私からお電話で確認させて頂きますのでご協力の程よろしくお願いします。

IMチャリティーゴルフ実行委員会 須賀 篤史 委員長

12月5日(金)に行われるチャリティーゴルフのご案内を本日流します。当日は例会振替となっております

でプレイされない方も会場に来ていただきお手伝いをお願いいたします。多くのご参加をお待ちいたします。

会計 松井 昭夫

第一四半期の集計を掲示板に掲示いたします。ご確認よろしくお願ひ致します。

米山月間卓話



米山記念奨学生 謝 藝 様

「教育と文化をつなぐ架け橋・ご縁に支えられた留学生活・」

皆さま、こんにちは。謝藝です。

本日はこのような貴重な卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

米山月間卓話

教育と文化をつなぐ架け橋

—ご縁に支えられた留学生活—

越谷北クラブ
XIE YI 謝藝 (シャ ゲイ)
2025.10.15

CONTENTS

- 01 自己紹介
- 02 出身地の紹介
- 03 ロータリーについて
- 04 大学院での研究内容
- 05 将来の夢
- 06 感謝の気持ち

本日のスピーチの内容は、6つに分けてお話ししま

す。どうぞよろしくお願ひいたします。

● 自己紹介

PART01
自己紹介

シャ ゲイ
謝 藝 (XIE YI)

出身地: 中国重慶 (じゅうけい)

年齢: 26歳

大学: 文教大学 教育学研究科

学校教育専攻



研究

研究方向: 特別支援教育、教育心理

研究テーマ: 発達障害のある子どものコミュニケーション

能力向上に関する支援方法の検討



まず、自己紹介をさせていただきます。謝藝と申します。中国の重慶(じゅうけい)出身です。現在は文教大学・教育研究科で学校教育学を専攻しています。研究の内容は特別支援教育です。研究テーマは、発達障害のある子どものコミュニケーション能力向上に関する支援方法の検討です。

もともと私は教育学を学びながら、「子どもたち一人ひとりの違いを大切にする教育」をテーマにしたいと考えていました。

大学時代に特別支援学校を訪問した際、発達障害のある子どもたちが笑顔で学ぶ姿に深く感動し、この分野で研究したいと思うようになりました。その思いを実現するため、日本で特別支援教育を学ぶことを決めました。

趣味:

- ◆ 写真を撮る、
- ◆ 楽器(中阮)
- ◆ 旅行



好きな日本文化:

- ◆ 浴衣、着物
- ◆ 祭り、花火大会
- ◆ J-POP
- ◆ 温泉・銭湯

好きな食べ物:

- ◆ お寿司
- ◆ しゃぶしゃぶ

趣味は写真を撮ること、旅行、そして中国の伝統楽器「中阮(ちゅうげん)」の演奏です。好きな日本文化は、祭り、J-POP、温泉、着物です。好きな食べ物はお寿司としゃぶしゃぶです。





● 出身地の紹介

PART02

出身地の紹介

出身地の紹介

重慶 (じゅうけい)

● 基本情報

- 中国西南部に位置する直轄市(ちょっかつし)
- 面積は約8万km²で、人口は3,000万人以上
- 山が多く、長江と嘉陵江という二つの大きな川が交わる美しい街
- 山が多いため、「山城(さんじょう)」と呼ばれている

一言で言うと
山の上に建つ、美しい夜景と火鍋の街

次に、私の故郷についてご紹介します。私の故郷・重慶(じゅうけい)は中国西南部にある都市で、面積は約8万平方キロメートル、人口は3,000万人以上です。

山が多いため「山城(さんじょう)」と呼ばれています。長江(ちょうこう)と嘉陵江(かりょうこう)という二つの大きな川が交わる、美しい景観を持つ街です。

出身地の紹介

重慶

Rotary

重慶といえば、やはり「夜景」ですね。街全体が立体的に輝くような美しさがあります。

また火鍋も有名で、とても辛い料理ですが、美味しいです。家族や友人が一緒に鍋を囲むことで会話が生まれ、心の距離が近づきます。火鍋はまさに“コミュニケーションの料理”だと思います。

出身地の紹介

文化



カンフー茶芸
烏龍摆尾

川劇
「变面」の技が特徴

さらに、文化といえばカンフー茶芸(ちゃげい)や川劇(せんげき)の変面(へんめん)が有名です。

熟練した技と華やかな演出が特徴で、重慶(じゅうけい)の人々の明るくエнергичныйな気質を表していると思います。

● ロータリーについて

PART03

ロータリーについて



日本のロータリーは海外からの留学生を支援しています

次にロータリーについてお話ししたいと思います。奨学生になってから、日本での生活がより充実したものになりました。

ロータリーについて



奨学生になって変わったこと

新しい出会いと
経験に満ちた留学生活

- 日本での生活がより充実
- 様々な人との出会いで視野が広がった
- 学業以外にも学びや楽しさが増えた



これまで出会うことのなかった多くの方々とつながり、さまざまな価値観や考え方触れることで、自分の視野が大きく広がったと感じています。



また、経済的に安心して研究を続けることができました。学業だけでなく、人との関わりや社会への貢献を通して、多くの学びや喜びを得ることができました。

ロータリーについて

活動参加の思い出

ロータリー活動で得た学びと楽しさ

- バス旅行
- 懇親会
- クリーンアップウォーキング
- 市民祭り: ポリオ根絶募金活動など…



ロータリーの皆さまとの交流を通して感じたのは、「人との出会いが自分を成長させてくれる」ということです。

例会では、人生経験豊富な方々からたくさんの言葉をいただき、研究だけでは得られない学びを日々感じています。



ロータリークラブの活動を通して学んだこと



異文化理解

- ロータリー活動を通して、日本の礼儀・社会の仕組み・人との関わり方を学ぶ。
- 「地域への貢献」や「人とのつながりを大切にする心」に感動。

コミュニケーション

- 年齢や立場の異なる方々と交流する貴重な機会。
- 言葉の大切さ、人との関わり方を実感。
- 温かいサポートのおかげで、自分の考えを伝えられるように。
- 感謝の気持ちを大切に、これからも積極的に交流したい。

ここからは、ロータリーを通して学んだことについてお話しします。

まずは、「異文化理解」です。異なる文化や価値観を尊重し、相互理解を深めることの大切さを学びました。

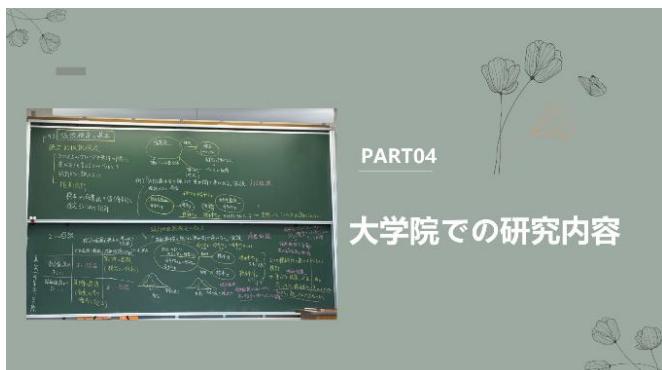
ロータリークラブの皆さまとの交流を通して、日本の礼儀、社会の仕組み、人との関わり方などを深く理解することができました。また、活動の中で感じた「地域への貢献」や「人とのつながりを大切にする心」は、母国にも共有したい日本の素晴らしい文化だと思っています。

次に、「コミュニケーション」です。他者と積極的に関わり、思いやりをもって交流する姿勢を育てることができました。例会や活動では、年齢も立場も異なる方々と交流

する機会が多く、人との関わり方や言葉の大切さを実感しました。最初は緊張しましたが、皆さんの温かいサポートのおかげで、少しずつ自分の考えを伝えられるようになりました。この経験は、私の研究テーマである「コミュニケーション能力の向上」にもつながっています。

人と関わる中で大切なのは、「話す力」だけでなく「相手の気持ちを受け取る力」だと実感しました。これは子どもたちの支援にも通じる大切な視点だと思っています。

● 大学院での研究内容



PART04

大学院での研究内容

次に、私の研究についてご紹介します。

私の研究テーマは、「小学校通級指導教室における発達障害児のコミュニケーション能力向上に関する支援方法の検討」です。

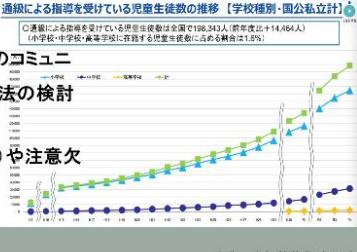
研究の対象は、自閉スペクトラム症(ASD)や注意欠如・多動症(ADHD)のある子どもたちです。

研究内容について



令和4年度通級設置校
(文部科学省、2024) 198,343 校
(小学校 164,735 校)

研究方向: 特別支援教育、教育心理



研究テーマ: 発達障害のある子どものコミュニケーション能力向上に関する支援方法の検討

研究対象: 自閉スペクトラム症(ASD)や注意欠如・多動症(ADHD)を持つ子ども5名

場所: 小学校通級指導教室

この研究を始めようと思った理由は、文部科学省のデータによれば、令和4年度に通級による指導を実施している小・中・高等学校は合計 198,343 校あり、そのうち小学校が 164,735 校を占めています。





研究内容について

通級による指導の重要性

Rotary



出典：文部科学省（2024）

通級は、多くの子どもが特別な支援を受ける場として、小学校における特別支援教育の重要な役割を担っています。

発達障害のある子どもの数が年々増加しており、通級による指導は、通常学級では十分に対応が難しい子どもたちに対して、特性に応じた個別的な支援を行う場となっています。個別や小集団での指導を通じて、学習への参加を保障し、社会的スキルの向上を促すことが求められています。

そのため、一人ひとりのニーズに合わせた効果的な支援方法の検討が必要です。



研究内容について

Rotary

研究期間

2024年6月～2025年11月

研究方法

- ・参与観察
小学校通級指導教室にて、週1～2回の頻度で現場観察を実施。
子どもたちの
・会話の回数
・自己理解・他者理解
・感情表現の仕方
などを記録・分析



研究期間は2024年6月から2025年11月までです。研究方法の一つは「参与観察」です。

小学校の通級指導教室にて、週1～2回の頻度で現場観察を行い、子どもたちの会話の回数・自己理解・他者理解・感情表現の仕方などを記録・分析しています。

たとえばゲームやロールプレイ活動の中で、子どもが「don't mind」【ま、いっかー】と言葉にできるようになるなど、少しづつ感情表現が豊かになる様子を見ることができます。そのような小さな変化が積み重なっていくことが、支援の大きな成果だと感じています。

国際ロータリー会長提言 「よいことのために手を取りあおう」
越谷北ロータリー会長提言 「原点回帰 未来へ繋ぐ・奉仕を楽しむ」



● 将来の夢



将来の夢

Rotary

博士課程への進学

今後は博士課程に進学し、研究をさらに深めたいと考えています。

特別支援教育の現場で活用できる、具体的な支援モデルの提案を目指します。

日本と中国をつなぐ
架け橋として

日本で学んだ知識や経験を母国に伝え、教育を通して日中の架け橋となれるよう努力しています。

目指す姿

子どもたち一人ひとりが自分らしく成長できる教育環境づくりに貢献し、国際社会で活躍できる学者を目指しています。

それでは最後に、将来の夢についてお話しします。今後は博士課程に進学して研究をさらに深め、特別支援教育やインクルーシブ教育の現場で活用できる、具体的な支援モデルを提案したいと考えています。

そして、日本で学んだ知識や経験を母国に伝え、教育を通して日本と中国の架け橋となれるよう努力していきたいです。

将来は、子どもたち一人ひとりが自分らしく成長できる教育環境づくりに貢献し、国際社会で活躍できる学者を目指しています。教育は、単に知識を教えるだけでなく、「心を育てる営み」だと思っています。その中で、子どもが自分が理解し、他者を思いやる力を育てることが、よりよい社会につながると信じています。

● 感謝の気持ち



感謝の気持ち

Rotary

ロータリークラブの温かいサポート

- ✿ 例会と活動での交流と学び
- ◆ 励ましと言葉の力
- ✿ 出会いとつながり
- ✿ 視野の広がり
- ✿ 学びと喜び
- ✿ 成長

最後に、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

いつも温かく迎えてくださるロータリークラブの皆さんに、心より感謝申し上げます。皆さまからいただいているご支援は、留学生活の大きな支えとなっています。経済的な支えだけでなく、温かいご交流や励ましのお言葉が、私の研究を続ける力になっています。今後も勉学に



励み、研究を通して日中の教育と文化交流に貢献できるよう努力してまいります。

ロータリーの理念である「国際的な理解と友好の架け橋」という精神を、私自身の生き方の中で実現していきたいと思います。学業だけでなく、これからも努力を続けてまいります。



最後に、クラブの皆さんに心より感謝申し上げます。ご清聴、ありがとうございました。

スマイル報告

・藝ちゃん、本日卓話宜しくお願ひします。

関 雄二郎

・埼玉県後期高齢者医療広域連合の情報では「窓口負担割合 2割」の配慮措置が終了致し、負担割合が2割となりました。ご注意ください。

新沼 徹

・来月のロータリー財団月間よろしくお願ひします。現在為替レートは 150 円台で推移しています。今月中の方がお得だと思います。これからの方は何卒、ご寄付を宜しくお願ひします。

小宮山 大介

・米山奨学生謝藝さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

鈴木 英男

・謝藝ちゃん、卓話よろしくお願ひします。

大熊 正行

・イーちゃん、卓話楽しみにしています。

近藤 慎悟

・本日もよろしくお願ひします。

大島 直幸

・本日も宜しくお願ひします。

松井 昭夫

・本日もよろしくお願ひします。

小池 和義

・本日もよろしくお願ひいたします。

石井 秀治

・本日もよろしくお願ひ致します。

藤田 学

・本日も宜しくお願ひ致します。

加地 昭俊

・本日も宜しくお願ひ致します。

佐藤 要

・本日もよろしくお願ひします。

須賀 篤史

・孫が結婚式を挙げました。

太田 靖彦

・前回欠席して申し訳ありません。

青木 清

・本日例会欠席します。申し訳ございません。

江口 公晴

・世界平和の為に。

深野 秀樹

・世界平和のために。

酒井 新樹

・世界平和の為に!

関森 初義

・世界平和

橋本 哲寿

・世界平和のために。

小林 光則

出席報告

会員数 52 名

出席者 29 名

出席率 58.0 %

